

演奏に  
役立つ

# One Point Lesson

# f l u t e フルート

芦澤 曉男 あしざわ・あきお



- ◆出身 神奈川県立湘南高校、東京音楽大学
- ◆所属 仙台フィルハーモニー管弦楽団、シャンブル・ディス、ゆかちゃんず、Orchla 木管五重奏団
- ◆趣味 釣り、読書、生物飼育繁殖
- ◆血液型 AB 型
- ◆星座 みずがめ座
- ◆読者にひとこと フルートをうんと好きになってね!!
- ◆手紙の送り先 BJ 交付

## タンギング & ピッコロに慣れよう!!

みなさん元気ですか!? いよいよ吹奏楽コンクールが始まりますね(^\_^) 経験ある人もない人も、緊張が高まっていくことでしょう。

よく、「芦澤さんはプロだから緊張しませんよね?」なんて言われます。“プロは本番の数が多く、いつもステージで演奏しているから緊張しないのだろう”ということなのでしょうね。僕が所属している仙台フィルは年間で約110回の本番があります。そしてオーケストラ以外の、アンサンブルやソロの本番も年間に50回くらいはあります。……でもね、緊張しちゃうんです(> <) 緊張すると、練習で問題なくできていたことができなったりすることもあります。でもテンションがあがってよい感じで吹けたりすることもあります。本番っていうのはそういうもんだ、と思ってやっています(^\_^) “緊張して、なおかつリラックスする”という矛盾したような感じがよい演奏につながるのかな、と思います。本番前には甘いものをちょっと食べて、深呼吸をしたりするとリラックスできますよ。

### ■タンギングについて

みなさんは音を出すときにタンギングをしていますよね!? おそらく、「tutu (トゥトゥ)」って発音している人が多いでしょう。もちろんそれでうまくいってればよいだけけれど、よく「フルート!! もっとはっきり吹いて!!」とか、「スタッカートをもっと切って!!」とか注意されませんか? そういうときは、「tutu (トゥトゥ)」という発音を「tete (テテ)」とか「titi (ティティ)」にしてみるとうまくいきます。

できれば少しでもよいので、タンギングの練習は毎日やったほうがよいですね。タンギングの練習をするときの注意点ですが、できるだけスラーを吹いている口の形(アンブシュア)を維持してタンギングするようにしてください。タンギングを続けていると、だん

だん音が出なくなったりしますよね? これは舌の動きに気をとられてしまい、だんだん口の形(アンブシュア)が崩れてしまうからなんですね。ですから、【譜例】のような音階を使ってタンギング練習するときは、まずスラーで吹いてよいアンブシュアをつかむ→それを崩さないようにタンギングで吹く→そしてまたスラーで吹いてアンブシュアの状態を確認する、というように交互に練習するのが効果的です。ダブルタンギング「tikitiki (ティキティキ)」やトリプルタンギング「tikiti (ティキティ)」もしくは「titiki (ティティキ)」、巻き舌のフラッタータンギングも同じように練習していくとよいでしょう。

### ■ピッコロのこと

みなさんの中にはピッコロを担当して、とても苦労している人がけっこういるのではないのでしょうか……。僕もピッコロを吹くときがあるけれど、本当にこの楽器は難しいですよ。課題曲でもソロがあったり、フルートとユニゾンで目立ったり、バンドの中でピッコロは大変活躍します。また、合奏全体の印象を決めてしまうほどの影響力を持つので、大変なプレッシャーを受けます。まずは、よいピッチよい音程で吹かねばなりません。そのためは、まずピッコロに慣れなければなりません。

僕は大学で初めてピッコロを吹きました。それまでは「フルートを吹いている人は同じようにピッコロも吹けるものだ」と思っていました。ところが吹いてみると、音すらまともに出ない有様で、正直びっくり!! 「こ

んなに違う楽器なのか!!」と(^\_^)

ピッコロに慣れるためにはまず、中・低音域を丁寧にゆっくりと音を確かめながら練習するのがよいと思います。注意点は、フルートよりもできるだけ少ない息で吹く、ということです。そしてチューナーのお世話になり、音程やピッチの傾向をつかむとよいでしょう。やたらに高くなったり、低くなったりする音があれば、いつもその音は予測をつけて、気をつけるようにします。

中・低音域が安定してきたら、少しずつ高音域に挑戦していきます。できるだけ力まず、少ない息で高音域が出るように練習していきましょう。大変な楽器ですが、かっこよく目立って活躍できるので、それを励みに練習してください(^\_^)/

### 演奏会情報

7月15、16日と仙台フィルが福島 schools へ演奏に行きます。また7月23、24日は仙台フィルの定期演奏会ですが、僕の大好きなストラヴィンスキーの組曲《ブルチネルラ》(1949年版)がプログラムにあります。開演前のロビーコンサートではオネゲルの室内協奏曲も演奏します。8月4日には「気軽にクラシック」という聴きやすい曲を集めた人気コンサートもあります。ぜひ聴きにきてね!!  
仙台フィル事務局 ☎022-225-3934

【譜例】

ti titi titi titi titi ti 同様

ti tikitiki (ダブルタンギング)

ti tikiti (トリプルタンギング)

ti ti ki ti ki

ti fr ~~~~~

などなど工夫してやってみましょう!!